

横浜国立大学とUR都市機構による 地域活性化に係る包括連携協定の締結について

国立大学法人横浜国立大学(以下「YNU」と)独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部(以下「UR」と)は地域活性化に係る包括連携協定を平成 28 年3月 30 日に締結しました。

【協定締結の背景と目的】

YNUは、平成 19 年に地域実践教育研究センターを、平成 23 年には大学院都市イノベーション研究院・学府を設置し、横浜市をはじめとする県内各地の地域課題の解決に向けた様々な実践的教育・研究に取り組んでいます。

一方のURは、入居者の高齢化や建物の老朽化が進む高度経済成長期に開発された賃貸住宅団地の活性化や価値向上に取り組んでいます。

特に大規模団地を含む地域においては、団地の活性化が地域課題の解決に直結すると言っても過言ではありませんが、その取組みを進めるに当たっては、多数の関係者間の調整や少子高齢化による担い手不足などが支障になることが少なくありません。

そこで、YNUとURは、これらの支障を取り除き、地域課題の解決＝団地の活性化の取組みを推進するためには、それぞれの知見・技術・資源等を相互に活用し、連携することが必要との考えで一致しました。

また、この連携の成果を広く社会に発信し活用することにより、様々な地域の活性化に貢献することができると考えています。

【連携の範囲】

神奈川県内の UR の団地を中心に次の連携を図ります。

- 1 YNUとURの連携の下に協働で実施するプロジェクトの推進
- 2 協働プロジェクトに係る情報の発信及び成果の公表
- 3 YNUの研究及びURの取組みに対する相互支援
- 4 必要な人材交流及び情報・意見交換の実施
- 5 その他本協定の目的を達成するために必要な事項



※今後予定している主な連携内容は別紙をご参照ください。

お問い合わせは下記へお願いします。

●横浜国立大学

研究推進部産学連携課

(電話) 045-339-4448

●UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

神奈川エリア経営部 計画推進チーム※

(電話) 045-682-1886

総務部 総務・法務チーム 広報担当

(電話) 03-5323-2555

※ 4月1日からストック・ウェルフェア推進チームに名称が変更となります。

横浜国立大学とUR都市機構との地域活性化に係る包括連携協定
～今後予定する主な連携内容について～

1 集合住宅団地における課題の抽出とその解決のための検討スキームの構築

大学研究者による集合住宅団地が抱える現代の都市問題の指摘やその解決手法の研究、提案、実践を行うための土台として、UR、YNU、地元住民、その他関連する団体や個人を巻き込んだ検討スキームを構築します。

検討を通じて、新規の研究プロジェクトの立ち上げ、また集合住宅団地・地域・都市のビジョンを策定いたします。

2 洋光台地区におけるCCラボの活用を通じたコミュニティ活性化の研究・実践

洋光台地区（別添1）における交流スペース「CCラボ」（別添2）の活用プログラムの検討を通じて、郊外型集合住宅団地での新しい生活スタイルの創出や、多世代の住民の地域活性化に資する活動を支援します。

3 郊外型集合住宅団地におけるローカルモビリティシステムの検討

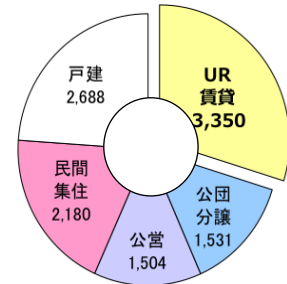
神奈川県内の郊外型集合住宅団地をモデルに、乗合型、シェアリング型、およびそれらの複合型による新たな交通システムを提案し、地域住民を巻き込んだ実証実験を通じて、鉄道やバス、自家用車といった既存の交通手段との役割分担や補完関係のあり方を検討します。

以 上

洋光台地区の概要

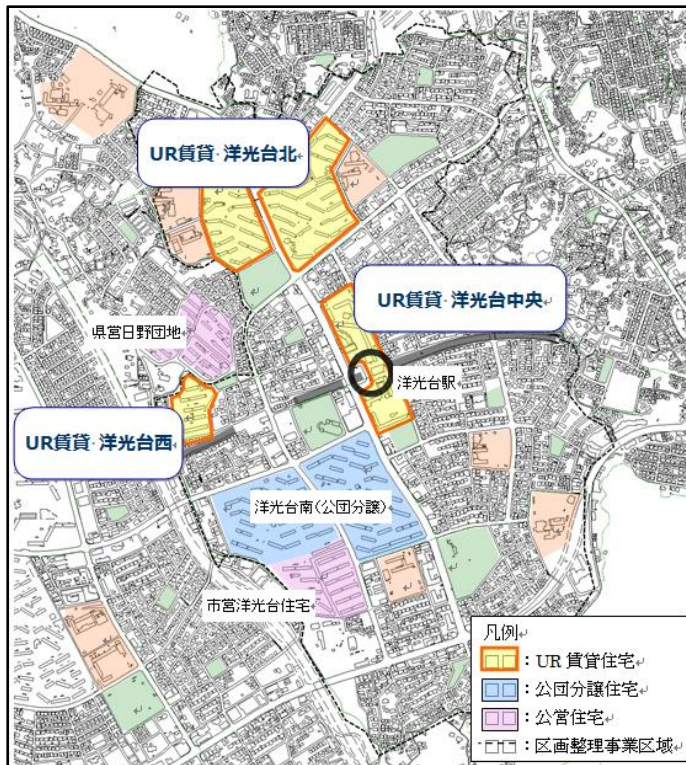
神奈川県横浜市磯子区南部に位置する、JR根岸線洋光台駅前を中心とする207.5haの郊外住宅地。横浜駅から約20分。

昭和40年代に根岸線の延伸と併せて、日本住宅公団施行の土地区画整理事業により開発された区域を中心としたエリア。UR賃貸住宅が住宅戸数の約1/3（3,350戸）を占めており、公営住宅を含め、約半数が公的賃貸住宅。



高齢化が進む中、洋光台まちづくり協議会をはじめ、地元住民を中心としたまちづくり活動が活発に行われており、洋光台エリア会議では、各種ワークショップや地元による自発的な活動「cyoiアクション」の成果を通じて、有識者、洋光台まちづくり協議会、行政、URが連携してエリア全体に係る議論を行っている。

<周辺図>



<CC ラボのある洋光台中央団地外観>



<洋光台エリア会議の様子>



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図2500（空間データ基盤）及び基盤地図情報を使用しました。（承認番号平23情使、第68号）なお、本成果品を第三者がさらに複製又は使用する場合には、国土地理院長の承認を得る必要があります。

「CCラボ」概要

URが管理する洋光台中央団地内の施設（2区画）を活用して、平成26年3月に開設したコミュニティ活性化・多世代交流の実践の場となる交流スペース

「CCラボ」とは、【Community Challenge Lab】（コミュニティ・チャレンジ・ラボ）の略称です。

(1) 利用案内

	Short Lab (13-2号棟 111号室)	Long Lab (13-2号棟 110号室)
利用時間	9:30~22:00	
利用期間	1日単位及び連続2日~7日間	1ヶ月~3ヶ月単位

※「CCラボ」の利用案内・申込方法については、下記ホームページに掲載しています。

ホームページ：<http://www.ur-net.go.jp/yokodai/>

(2) 位置図



<「CCラボ」内観>

(3) 活動概要

「CCラボ」では、一般個人の利用希望者や各種団体によるイベントやパネル展示等様々なコミュニティ活動が展開されており、今後もこのような活動の拠点として活用するとともに、UR、大学や行政機関等が協力しながら、エリア活性化に向けたイベント・講習会・ワークショップ等を企画・開催していく予定です。